

議会改革特別委員会検討内容（令和4年5月16日）

《新庁舎における議会運営について》

＜タブレット導入に係る検討事項について＞

タブレット導入に係る検討事項について、議会事務局から資料の提供及び説明を受け、質疑応答を行った後、各会派から意見を持ち寄り、協議を行いました。

項目	主な委員意見
①Office Mobileのサブスクリプション版（Microsoft365）の導入及びキーボードの調達について	<ul style="list-style-type: none"> ・編集が可能なMicrosoft365を一律で導入したほうがよい。併せてキーボードについても一律で購入していただきたいがまとまるところでよい。 ・議員全員が同じ使用頻度かどうか不明なため、Microsoft365とキーボードは全員一律で揃えるというよりも必要な方が個人対応すればよいのではないか。 ・Microsoft365を入れるのであれば個人負担でよい。 ・一律で入れるのは無料版を入れて、Microsoft365を必要な方は個人で対応すればよい。
②タブレット端末の調達方法 ・購入 ・レンタル（リース）	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタル（リース）がよい。 ・改選の時期を踏まえてレンタル（リース）をしていくのが合理的ではないかと思う。レンタル（リース）の方が事務負担の軽減もあるとのことで、トータル的にはレンタル（リース）が安くなると感じた。 ・まとまるところでよい。
③費用負担（議員負担の有無） ・議員負担なし ・議委負担あり	<ul style="list-style-type: none"> ・議員負担なしがよい。 ・タブレットを導入して議会改革を常時進めるための費用であると考えたと全額公費負担であってもいいと思う。 ・LTE通信に係る費用は議員負担ありがよいと考える。
④予算設定の時期	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度後期中の納品を目指せばよい。 ・新庁舎に移って使用開始することを考えると、令和4年度中に補正予算、債務負担行為を設定し、令和5年度の前期中の納品を目指すべき。 ・まとまるところでよい。

意見交換及び協議の結果、

①Office Mobileのサブスクリプション版（Microsoft365）の導入については

「Microsoft365は一律の導入はせず、入れる場合は個人対応」とし、
キーボードの調達についても「個人対応」とすることを決定

②タブレット端末の調達方法については、「レンタル（リース）」とすることを決定

③費用負担（議員負担の有無）については、「議員負担なし」とすることを決定

④予算設定の時期については、「令和4年度中に補正予算、債務負担行為の設定を行う」
ことを決定しました。

次回の協議内容については、同規模自治体の政治倫理条例に関する取組状況について、調査を行うことに決定しました。

次回（第5回）の議会改革特別委員会は、令和4年5月30日（月）の議会運営委員会終了後に、第2委員会室で開催します。